

再エネ・省エネ設備等の 導入を補助します！



ゼロカーボンシティ
きたじま
Zero Carbon City Kitajima

【申請期間】 令和7年4月16日(水)～令和7年12月26日(金)

★先着順とし、予算がなくなり次第、終了とします。

【事業の流れ】



※必ず、町の「交付決定」を受けてから事業に着手してください。

【補助対象事業】

対象経費：設備費(新規設備の購入、運搬等に要する経費)、工事費 ※撤去に要する費用は除く

太陽光発電設備

補助額：5万円/kW

ソーラーカーポート

補助率：対象経費の1/3

<主な要件>

- ・FIT/FIP制度の認定を取得しないこと
- ・発電する電力のうち30%以上を申請者自らが消費すること
- ※申請者の自家消費分を含め発電する電力のうち50%以上を徳島県内で消費すること

蓄電池

(本事業で導入した太陽光発電設備の附帯設備)

補助額：対象経費の1/3

上限額：213.3万円

<主な要件>

- ・停電時のみに利用する非常用予備電源でないこと
- ・目標価格※以下の蓄電設備となるよう努めること
- ※目標価格は蓄電容量により異なります。詳細はHP等でご確認ください

高効率機器

(空調設備、給湯器、照明(LED))

補助額：対象経費の1/2

上限額：空調、給湯 100万円/件
照明(LED) 50万円/件

<主な要件>

- ・空調、給湯：既存機器より30%以上の省CO₂効果があること
- ・照明(LED)：調光制御機能を有すること

電気自動車 (EV・PHV)

補助額：

蓄電容量×2万円+30万円

上限額：CEV補助金の銘柄ごとの
補助交付額+30万円

<主な要件>

- ・再エネ発電設備と接続して充電すること
- ・「CEV補助金」の交付対象銘柄であること

V2H (充放電設備)

(本事業で導入したEV・PHVの附帯設備)

補助額：対象経費の1/2

上限額：60.5万円/件

<主な要件>

- ・「CEV補助金」の交付対象銘柄であること。

対象設備の施工を
徳島県内の事業者にお問い合わせすると
各補助額に10万円/件の上乗せ
補助が受けれます！！

※蓄電池、V2Hは対象外



県内事業者の情報はこちらから→

事業者が脱炭素に取り組むメリット

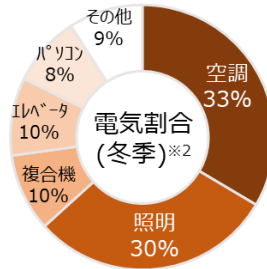
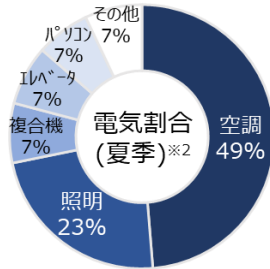
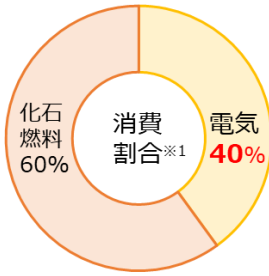
ランニングコスト

- ・削減ポテンシャルを検証、プロセスの改善によりコストを削減
- ・外部から購入するエネルギーを減らし、コストを削減

競争力の向上

- ・取引先企業として選ばれやすくなり、新規の取引先開拓にもつながる
- ・企業イメージ、認知度の向上による売上増加
- ・製品単位の排出量の見える化されることで、製品の差別化が可能

事業者（事務所やオフィスビル等）のエネルギー消費状況



エネルギー消費

約**40%**が電気

電気では

60%以上が**空調と照明**

※1 北島町地球温暖化対策実行計画 区域施策編より

※2 経産省「省エネメニュー 事業者の皆さま（夏季、冬季）」https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/media/より

削減イメージ（月間電気使用量が4,000kWh程度の小規模オフィスの想定）

蛍光灯をLEDに交換すると

削減電気量 (kWh/年)※1	削減電気代 (円/年)※2	削減CO ₂ (kg/年)※3
7,200	▲216,000	▲2,664

※1 年間消費電力48,000kWh、照明による消費25%、LEDによる削減60%
※2 電気代単価30円/kWh ※3 排出係数0.370kg-CO₂/kWh

太陽光発電（25kW）を導入すると

想定発電量 (kWh/年)※1	昼間使用量 (kWh/年)※2	削減電気代 (円/年)※3	削減CO ₂ (kg/年)※4
30,660	28,800	▲864,000	▲10,656

※1 設備利用率14% ※2 年間使用量(48,000kWh)の60%
※3 電気代単価30円/kWh ※4 排出係数0.370kg-CO₂/kWh

他にも太陽光発電設備には、以下の効果も期待できる。

- ・災害時の電気確保！
- ・事業への影響を緩和！

LED照明に替えるとどのくらい省エネ？

	改修前	改修後	省エネ率
オフィス・会議室	FLR40形2灯用逆富士形器具	高圧LED40形2灯用逆富士形器具	約58%
		LED一体形器具	約67%
		LED一体形器具+あかるさ・人感センサ	約79%
店舗・施設	ダイクロハロゲン (IDR) 75形スポットライト	LEDスポットライト100形ダイクロハロゲン (IDR) 75形相当	約84%

出典：環境省ホームページより (<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/akari/build/index.html>)

ガソリン車をEVに乗り換えると

燃料(電気) 使用量※1	削減燃料代 (円/年)※2	削減CO ₂ (kg/年)※3
ガソリン車: 500L EV: 1,250kWh	▲52,500	▲698

※1 年間走行距離10,000km、燃費20km/L、電費8km/kWh
※2 ガソリン代180円/L、電気代単価30円/kWh
※3 排出係数2.32kg/t-CO₂、0.370kg-CO₂/kWh

余剰電気でEV充電すると、以下の効果も期待できる。

- ・▲37,500円/年の電気代
 - ・▲463kg/年のCO₂削減
- 更に、V2Hがあれば、災害時の電源確保に！

補助金申請までの流れ

- ① 申請書および必要書類をHPからダウンロード
<https://www.town.kitajima.lg.jp/docs/4607478.html>
- ② 申請書等に必要事項を記入およびチェックリストを確認し添付書類を準備
- ③ 提出先まで提出（郵送または持参）



ゼロカーボンシティ
きたじま
Zero Carbon City Kitajima

申請前には必ず補助事業の手引きや要綱で要件を確認してください。
不明な点がある場合はいつでも問い合わせね！



← 補助事業HP
はこちらから

【申請書提出先】

北島町役場まちみらい課

〒771-0285

徳島県板野郡北島町中村字上地23-1

【お問合せ先】

北島町重点対策加速化事業補助金事務局

Tel.080-5888-7361または7362

受付時間 9時～12時、13時から17時まで(土日祝除く)

※本補助金にかかる問合せ対応は、北島町まちみらい課からの委託により(株)四電技術コンサルタントが実施します。